

第5波と第6波の入院患者像の違い（概要）

	第5波		第6波※
	2021年7月	2021年8月	2022年1月
中等症以上 ※酸素投与が必要な方	40%	70%	15%
軽症等	60%	30%	85%

- ✓ 第5波において、7月以降ベッドが空いていても入院が困難な状況。その際、酸素投与が必要な方が右肩上がりになり上昇。
- ✓ その後8月には7割の人が酸素投与となり、最大病床利用数4,351床となった。
- ✓ 1月の状況は、酸素投与が必要な方は15%程度

※2022年1月4日までは、オミクロン株の疑いのある患者については、入院措置を行うこととされていた。